

「4月4日はピアノ調律の日」記念事業報告

名称「もっと知りたいピアノのひみつ」

2023年3月5日(日)13:00～17:00

伊那市生涯学習センター いなっせ 6F ニシザワいなっせホール(収容 300 名)

入場無料 (整理券と調律体験の事前申し込み)

○内容

①ピアノ解体ショー ②ピアノコンサート&トーク ③調律体験 ④ロビーでのワークショップ・展示
の4本仕立て

○来場者数 約 160 名

ピアノの魅力を多方面からのアプローチによって普段は弾く、聴くのみの方々にも、ピアノ内部の奥深さを感じて頂けたと思います。体験型のワークショップも充実していたので長い人では4時間近く滞在された方もおられたかと思います。多数の方々にご来場いただき、ピアノ文化普及の一助になる良い記念事業になりました。

① ピアノ解体ショー(演者 平野真也)



ヤマハ CF3 アクションお披露目



ペダル分解



キャストスターを使い、脚(1本)外す



スマホカメラでハンマーの動きを見る



カラフルなピンポン玉で音を目で見る



小型オルゴールを響板に付けて音量の違いを確認

②コンサート&トーク(演奏者 林 智子)



モーツァルトから時系列で一曲ごとにトークとプロジェクター(作曲者の写真と当時のピアノ)を交えて演奏される



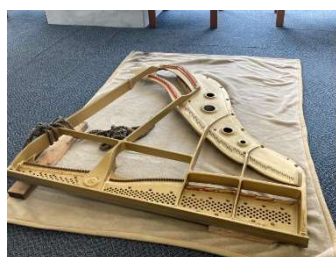
親しみやすいお人柄。一曲は子供達をステージ上に招き、近距離で色々な角度から音を体感してもらう時間を設ける

③調律体験



ステージ上の CF を用いての調律体験。限りある時間の中でより多くの方へ楽しく体験してもらえる様に、約 30 分(10 組)を 2 回行いました。合計 20 組、46 名の皆さんに行っていただき好評でした。

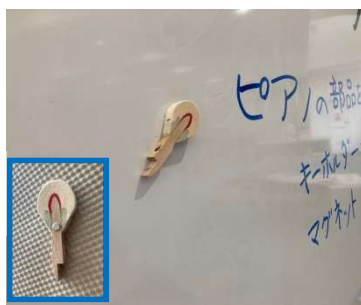
④ロビー展示・ワークショップ



展示物 修理中の中古グランドピアノを展示
(鉄骨フレームを縄で持ち上げて、重さを体感してもらった)



GP、小型チェンバロ、オルガン(試弾可)展示



ワークショップ(ハンマー整形、シャンク抜き、キーホルダー、マグネット作り)





地元メディア取材



多くの方々に体験も通じてピアノをより深く知っていただく機会となりました



「もっと知りたいピアノのひみつ」で協会員からの教えて調律を体験する参加者

「調律」解体」ピアノに触れる

調律師協会 伊那で体験イベント

日本ピアノ調律師協会信越支部などは5日、楽しみながらピアノについての知識を深めるイベント「もっと知りたいピアノのひみつ」を伊那市のいなっせで開いた。同施設が所有するピアノ3台を使用して調律体験や「解体ショー」「ピアノの林智子さんによるコンサートなどを実施。家族連れなど多くの人が訪れ、さまざまな企画を通してピアノに親しんだ。

4月4日の「ピアノ調律の日」の記念事業。同支部では同日に合わせ、各地でコンサートを開くなどしてきたが、ピアノをより知ってもらいたいと、今年は体験型のイベントを企画した。

調律体験では、20組約60人が参加。協会の指導で、音が外れた鍵盤の音を鳴らしながら、専用器具で弦の張力を変えて音程を合わせた。体験した本田和奏さん(10)は「力もいるし耳が良くないと難しい。プロの人に教えてもらえて勉強になった」と話した。

イベントでは、ピアノ部品の展示や、足踏みオルガンやチェンバロなど珍しいピアノの演奏体験もあり、参加者は貴重な機会に夢中になっていた。協会の平野真也さん(46)は「もっとピアノに興味を持ってもらい、ピアノに限らず音楽に親しんでもらうきっかけになれば」と期待した。(町田陽)



ホールが所有している3台のピアノを利用